



2024年5月15日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ビ ジ ョ ン
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 CEO 佐 野 健 一
(コード番号：9416 東証プライム)
問 合 せ 先 取 締 役 CFO 中 本 新 一
(TEL. 03-5287-3110)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、コーポレート・ガバナンスコードに基づき、取締役会の実効性を高め、企業価値向上を図ることを目的として、取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

当社は、全ての取締役及び監査役に対して、下記「2. 評価項目」の大項目に関するアンケートを実施いたしました。回答は5段階評価とし、かつ「理由・改善すべき点」を設けて建設的な意見を得るようにし、全員の回答結果の集計・評価を実施いたしました。

2. 評価項目

(1) 取締役会の構成	(設問 7 問)
(2) 取締役会の運営	(設問 10 問)
(3) 取締役会の議題	(設問 12 問)
(4) サステナビリティ等を巡る課題	(設問 1 問)
(5) 取締役会を支える体制	(設問 2 問)
(6) 株主との関係	(設問 2 問)

3. 評価結果の概要

(1) 取締役会の構成

当社の取締役会は、専門知識や経験等のバックグラウンドが異なる多様な取締役及び監査役の10名で構成されており、適切であるという評価結果となりました。

(2) 取締役会の運営

取締役会の年間スケジュール、開催頻度、会議資料及び審議時間は概ね妥当であり、社外取締役及び監査役が自由に発言できる雰囲気もあることから、全体として適切であるという評価結果となりました。

(3) 取締役会の議題

「企業戦略」「議題の選定」「審議時間」「経営幹部の選任・解任」「リスク管理」及び「取締役の報酬」に関しては、適切に審議されているという評価結果となりました。

特に「取締役の報酬」については、2023年12月に設置された指名報酬委員会の活動内容が評価されました。

(4) サステナビリティ等を巡る課題

中長期的な企業価値の向上の観点から、自社のサステナビリティやSDGs及び女性活躍促進を巡る取り組みについては、議論できているという評価結果となりました。

一方で、より具体的な取り組みについての議論が必要である旨の意見がありました。

(5) 取締役会を支える体制

外部の専門家の助言を得る機会や会社の事業・財務・組織等に関する必要な知識を取得する機会が与えられているという評価結果となりました。

一方で、個々のトレーニング機会の提供は、改善の余地がある旨の意見がありました。

(6) 株主との関係

外国人投資家を配慮した情報開示、英文情報の拡充や株主への利益還元方針についての対話などは適切に行われているという評価結果となりました。

一方で、過去実施していた株主総会後の（個人株主等に対する）事業説明会については、コロナ禍があったことから中断しているため、この点が課題である旨の意見がありました。

全評価	4.2
(1) 取締役会の構成	4.2
(2) 取締役会の運営	4.6
(3) 取締役会の議題	4.4
(4) サステナビリティ等を巡る課題	3.8
(5) 取締役会を支える体制	3.9
(6) 株主との関係	4.6

上記の評価結果から、当社の取締役会は概ね適切に機能し、取締役会の実効性は確保されていることを確認いたしました。

一方、「サステナビリティ等を巡る課題」及び「取締役会を支える体制」に関する取り組みにつきましては、継続的な議論が必要であることを確認いたしました。

4. 今後の取り組み

当社取締役会は、今回の評価結果に基づき十分な議論を重ね、課題を解決することにより取締役会の実効性を高め、更なる企業価値向上に努めてまいります。

以上